

【 平成 29 年度 河川巡視結果 】

1 巡視日時、消防署管内・河川等

巡視日時	消防署管内・河川等
4月18日(火) 9時30分～11時00分	【青葉消防署管内】 梅田川 杉戸橋付近、東照宮前橋付近
4月18日(火) 13時30分～15時00分	【宮城野消防署管内】 七北田川(左岸、右岸、河口) 蒲生字町、西原地内、白鳥一丁目地内
4月19日(水) 9時00分～11時30分	【若林消防署管内】 貞山運河、井土浦川、二郷堀 大堀・二郷堀・藤塚・井土浦川排水機場、井土浦樋門
4月19日(水) 13時30分～15時00分	【太白消防署管内】 谷地堀 郡山字原田、郡山字谷地田東
4月20日(木) 13時30分～16時00分	【泉消防署管内】 七北田川、山田川 馬橋周辺、小角水量標、長命橋周辺、原雨水ポンプ場
4月20日(木) 9時00分～11時00分	【宮城消防署管内】 広瀬川、芋沢川 芋沢字新田地内、芋沢字大竹新田下地内、向田地内

2 参加機関

国	東北地方整備局仙台河川国道事務所名取川出張所
宮城県	宮城県仙台土木事務所
仙台市	危機管理室防災計画課 経済局農林部農林土木課 都市整備局住環境部開発調整課 建設局下水道事業部下水道北管理センター 建設局下水道事業部下水道南管理センター 青葉区役所区民部区民生活課 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課 宮城野区役所区民部区民生活課 若林区役所区民部区民生活課 太白区役所区民部区民生活課 泉区役所区民部区民生活課
消防団、消防署	各消防団、各消防署、消防局

3 参加人員（延べ人員）

消防署管内 (河川等)	国・県・市 関係者	消防団員	消防職員	計
青葉消防署管内 (梅田川)	6名	5名	18名	29名
宮城野消防署管内 (七北田川)	10名	7名	9名	26名
若林消防署管内 (貞山運河等)	13名	11名	11名	35名
太白消防署管内 (谷地堀)	13名	2名	8名	23名
泉消防署管内 (七北田川等)	11名	16名	18名	45名
宮城消防署管内 (広瀬川等)	8名	5名	11名	24名
合計	61名	46名	75名	182名

4 巡視概要

(1) 青葉消防署管内（梅田川）

上杉六丁目、杉戸橋付近の護岸に異常は認められない。杉戸橋下流は、堆積土砂により川幅が狭くなっているが、工事実施が困難なため浚渫工事等は予定していない。

台原一丁目付近は、平成26年9月の豪雨により護岸の崩落が発生したが、昨年度末に復旧工事が完了している。

東照宮前橋付近は、護岸改修工事が完了しており、破損等の異常箇所は認められない。東照宮前橋下流は、河川内に土砂が堆積しているが川幅が確保できていることから、除去工事は予定していない。

(2) 宮城野消防署管内（七北田川）

七北田川の堤防破損箇所を確認した。高砂橋上流の堤防は、平成27年9月までに地盤沈下分の堤防嵩上げ工事を完了している。高砂橋下流の堤防（右岸約400m）は、平成29年度内の工事完了を予定する。河口は、堆積土砂の除去作業が完了し、現在築堤工事を行っている。貞山堀と七北田川の接続部分は、仮設のフラップゲートを設置している。

和田排水樋門は開閉可能であり、七北田川の水位が高い場合、建設局下水道南管理センター職員または契約業者により現地を確認の上、樋門を閉鎖する。和田排水樋門から内水を排水できない場合、約100m西側に設置している仮設排水ポンプ4台を起動し、内水を七北田川へ排水する。現在、和田新田堀の移設工事を行っている。平成29年5月

中の工事完了を予定しており、工事完了後は仮設排水ポンプを撤去する。

白鳥一丁目には、仮設排水ポンプを5台（1台あたり毎分4tの排水能力）設置している。都市排水路に水位計を設置し、水位変化を建設局下水道南管理センターにおいて遠隔監視している。水位が上昇した場合、建設局下水道南管理センターまたは契約業者により仮設排水ポンプを起動する。仮設排水ポンプを冠水前に稼働することにより、被害を防いでいる。

七北田川右岸の南蒲生浄化センターは、東日本大震災の被災から復旧を進めてきた。全施設が完成したことから、平成28年4月から本格稼働している。

(3) 若林消防署管内（貞山運河等）

大堀排水機場、二郷堀排水機場、藤塚排水機場を確認し、所管する経済局農林土木課から概要説明を受ける。東日本大震災の津波により、排水機場は大きな被害を受けた。排水機場の減災対策を必要としたことから、復旧整備にあたり、各種の減災対策に配慮した。排水機場の建屋・排水ポンプ等の施設は、平成27年8月に工事が完了し、平成28年3月に場内整備が完了した。

新設する井土浦川排水機場は、平成28年度に工事が完了し、平成29年度中に場内整備を完了する予定。震災による地盤沈下の影響を考慮し、井土浦川排水機場の排水能力を当初計画から増加した。二郷堀地区全体の内水対策事業として、二郷堀排水機場、井土浦川排水機場を整備している。

名取川左岸は、平成25年度中に改修を完了している。河口から1.4kmにわたり3面張りコンクリート補強を行った。河口から1.4km区間の天端高は、河口から閑上大橋までが7.2m、閑上大橋から上流は6.0mの設計としている。

仙台東地区の基幹排水機場を復旧整備したことから、今後の大雨等に対する排水に効果を発揮すると考える。

(4) 太白消防署管内（谷地堀）

谷地堀は、下流端において旧策川と合流した後、名取川へ合流する。名取川が増水した場合の旧策川への逆流を防ぐため、旧策川と名取川の合流地点に水門を設置している。併せて、谷地堀及び旧策川の排水対策として、名取川との合流地点（水門）付近に遊水地を設けている。

平成27年9月豪雨により、旧策川の水位が上昇し、周囲の地域に床上・床下浸水、道路冠水が発生した。旧策川の状況を判断するため、「北目橋」付近に水位計及び監視カメラを設置し、水位変化を宮城県仙台土木事務所において遠隔監視している。

谷地堀の改修工事に着手していたものの、東日本大震災の発生により中断していた。昨年度から谷地堀右岸の護岸工事を着手しており、今年度は左岸の護岸工事を予定している。順次改修を進めていき、平成33年度中の工事完了を予定している。現在の谷地堀は、護岸の崩れや洗掘等の異常を認めない。

(5) 泉消防署管内（七北田川等）

七北田川に架かる「馬橋」は、平成 27 年 9 月豪雨により被災した。平成 28 年 7 月に仮橋を設置し、現在は車両の通行が可能となっている。馬橋から下流の左岸は浸食されており、順次護岸工事を実施する予定。

水位を視覚的に確認しやすくするため、昨年、小角水位観測所に量水標を設置した。小角水位観測所の状況を判断するため、河川監視カメラシステムの設置工事を実施している。

長命橋は、平成 24 年 6 月の台風により被災し、平成 26 年に架け替え工事を完了している。長命橋上流は、大きく弧を描いており越水する可能性が高いことから、今年度の護岸工事を予定している。

仙台川は、七北田川に合流する。合流地点に土砂が堆積しており、除去工事を検討している。東日本大震災及び平成 27 年 9 月豪雨により護岸が破損していることから、復旧工事を予定している。

(6) 宮城消防署管内（広瀬川等）

芋沢字新田地内の右岸は、20mを超える傾斜地であり、越水の可能性は乏しい。平成 27 年 9 月豪雨により、傾斜面の一部崩落、洗掘等が発生した。今年度、復旧工事を予定する。左岸（西仙台病院側）の護岸にも崩落、洗掘等が発生しており、崩落部分を改修するまで、水位上昇時の越水等に留意していく。

芋沢字大竹新田下地内は、過去に越水した箇所があることから、豪雨等による水位上昇の場合、越水等に留意していく。

広瀬川に合流する芋沢川は、平成 29 年度に堆積土砂の除去工事を予定している。明仙橋付近の護岸に亀裂等の異常箇所は認められないが、明仙橋の下流右岸の護岸に高低差がある。芋沢川の水位が上昇した場合、右岸側に越水する可能性がある。

5 巡視総括

各消防署管内における河川巡視により、現在の河川等の状況と併せ、河川の水位上昇等の場合に留意すべき箇所・区域等を確認した。

大雨、豪雨等の水害に係る災害対応のため、巡視による河川等の実態把握に努めるとともに、各機関と緊密な連携を図っていく。